

一般競争入札を行いますので、京都市契約事務規則第28条の3の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成21年8月10日

京都市長 門川 大作

1 競争入札に付する事項

(1) 工事名称

栗尾バイパス トンネル新設工事（1号トンネル）

(2) 工事場所

一般国道162号

京都市右京区京北細野町他地内

(3) 工事概要

工事延長2,342.7メートル

トンネル掘削工2,313メートル

覆工コンクリート工2,313メートル

インバート工585メートル

坑門工2箇所

附属構造物一式

仮設備工一式

(4) 工期

契約の日から平成24年3月15日まで

(5) 支払条件

ア 前金払

平成21年度、平成22年度及び平成23年度に、各会計年度の出来高予定

額の4割を超えない範囲内で支払うこととする。ただし、各支払年度における支払限度額は、3億円とする。

イ 部分払

出来形部分に相応する部分払については、必要に応じて行うこととする。

2 入札までの手続

(1) 本件入札に参加しようとする者は、あらかじめ、「栗尾バイパス トンネル新設工事（1号トンネル）入札説明書・落札者決定基準・設計図書」を、次のとおりそれぞれ入手のうえ、入札参加申請を行うこと。

ア 「栗尾バイパス トンネル新設工事（1号トンネル）入札説明書」（以下「入札説明書」という。）、「栗尾バイパス トンネル新設工事（1号トンネル）落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）については、8(1)イの京都市建設局建設企画部建設企画課のホームページからダウンロードにより入手すること。

イ 「栗尾バイパス トンネル新設工事（1号トンネル）設計図書」（以下「設計図書等」という。）については、8(2)イの設計図書等の販売業者から複写（有料）したものを入手すること。

(2) 3の入札参加資格に関する事項について、5に示すとおり入札参加資格の確認を行い、入札参加資格を有すると認めた者を本件入札参加有資格者とする。

(3) 上記(2)の確認結果は、5(5)のとおり通知する。

(4) 本件入札は、総合評価方式により行う。その概要は6において示す。

なお、詳細については、落札者決定基準において示す。

(5) 本件入札は、京都市電子入札システムにより行う。ただし、総合評価に係る技術資料等については5(2)ア(ア)の場所へ持参し、提出すること。

3 入札参加資格に関する事項

京都市契約事務規則（以下「規則」という。）第4条第1項に規定する一般競争入札参加有資格名簿若しくは規則第22条第1項に規定する指名競争入札有資格者名簿に登載されている者（以下「登録事業者」という。）又は登録事業者以外の者で、平成20年11月25日付け京都市告示第357号に定める資格の審査の申請を行い、開札のときまでに告示に定める資格を有すると認められた者のいずれかであって、かつ、一般競争入札参加確認申請日の提出の日において、次に掲げるすべての条件（以下「特定競争入札参加資格」という。）を満たす者

(1) 本件入札に係る一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限から一般競争入札参加資格の確認までの期間において、京都市競争入札等取扱要綱（以下「要綱」という。）第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止措置を受けていないこと。

(2) 4の共同企業体に関する事項に掲げる条件をすべて満たしていること。

4 共同企業体に関する事項

(1) 本件工事は、特定建設工事共同企業体（以下「共同企業体」という。）による共同施工方式とする。

(2) 共同企業体で次の資格要件を満たしているものとする。

ア 共同企業体の構成員は、建設業法に基づく土木工事業の許可を受けている4者による自主結成とする。

イ 代表者となる構成員（出資割合が構成員中最大の者）は、直前の経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（建設業法第27条の27の規定によるもので、同法第27条の29第1項に規定する総合評定値が記載されており、開札日において有効（審査基準日から1年7箇月以内）なものに限る。以下同じ。）における「土木一式」の総合評定値が1,250点以上であること。

また、代表者以外の構成員のうちの一者は、「土木一式」の総合評定値が1,

100点以上であること。

さらに、他の構成員の二者は、「土木一式」の総合評定値が900点以上であること。

ウ 代表者となる構成員は、平成6年度以降に完成済みの工事において、単独又は共同企業体の構成員（いずれも元請）として、道路又は鉄道に係る掘削長1,500メートル以上かつ内空断面積50平方メートル以上の山岳トンネルを、NATM工法（ただし、発破掘削）により施工した実績を有していること。ただし、共同企業体の構成員としての実績の場合は、出資比率が20パーセント以上で、自社の監理技術者又は国家資格を有する主任技術者を工事現場に専任で配置した場合に限る。

エ すべての構成員が、建設業法に基づく土木一式工事に係る監理技術者（平成16年3月1日以降に監理技術者証を交付されている場合は、監理技術者講習を受講し、監理技術者講習修了証の発行を受けている者に限る。）を専任で1名以上配置し得ること。

なお、当該技術者は、次の条件をすべて満たしていること。

(ア) 一般競争入札参加資格確認申請日において、他の工事に技術者として配置されていないこと。

(イ) 一般競争入札参加資格確認申請日から落札決定までの期間に、すべての工事の入札案件において、技術者として配置を予定されていない者であること。

(ウ) 落札後において、実際に配置する技術者の変更は認められないこと。

(エ) 常勤の自社社員であり、かつ、一般競争入札参加資格確認申請日において引き続き3箇月以上の雇用関係があること。

(3) 共同企業体の構成員は、本件入札に係る2以上の共同企業体の構成員となることはできない。

(4) 構成員の出資割合の下限は、15パーセントとする。

(5) 関係会社の参加制限

本件入札に参加しようとする共同企業体の構成員と本件入札に参加しようとする別の共同企業体の構成員との関係が、次の各号のいずれかの関係に該当する場合は、そのうちの二者しか本件入札に参加できない。

ア 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社（会社法第2条第3号及び会社法施行規則第3条の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は子会社の一方が会社更生法第2条第7項に規定する更生会社（以下「更生会社」という。）又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合を除く。

(ア) 親会社（会社法第2条第4号及び会社法施行規則第3条の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(ア)については、会社の一方が更生会社又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除く。

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の会社更生法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

前各号と同視し得る資本関係又は人的関係にあると認められる場合

5 入札参加資格の確認

(1) 本件入札に参加しようとする者は、次の書類を提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

なお、指定する期間内に必要な書類を提出しない者及び入札参加資格がないと認められた者は、本件入札に参加することができない。

また、必要書類の作成に係る費用は申請者の負担とし、提出された書類は返却しないが、本市において無断で使用しないものとする。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）（用紙交付）

イ 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の写し

ウ 施工実績調書（用紙交付）

4(2)ウの施工実績を記載し、それを証明し得る契約書及び設計図書等の写しを添付すること。

エ 技術者配置予定調書（用紙交付）

4(2)エの技術者を記載し、その者の監理技術者資格者証（裏表両面）の写しを添付すること。また、当該技術者が平成16年3月1日以降に監理技術者資格者証の交付を受けた者である場合には、併せて監理技術者講習修了証の写しを添付すること。

なお、落札した場合には、技術者配置予定調書に記載された者と異なる者を配置すること、及び履行の途中における技術者の変更は認められない。

オ 特定建設工事共同企業体入札参加資格審査申請書（用紙交付）

カ 特定建設工事共同企業体協定書（甲）（原本5部）

国土交通省が示す様式で、平成14年3月29日付国総振162号により改正後のもの。

なお、特定建設工事共同企業体協定書（甲）は原本5部を確認のうえ、4部を返却する。

キ 委任状

代表者（又は本市に届出済みの受任者）以外の代理人名で一般競争入札参加資格確認申請書を提出する場合のみ。

ク 返信用封筒

表に返信先を記載し，簡易書留郵便相当額の切手をちょう付すること。

(2) 入札参加資格確認申請書等の交付期間及び交付場所

ア 書面による交付

(ア) 交付場所

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市行財政局財政部契約課工事契約担当

(電話075-222-3313)

(イ) 交付期間

公告の日から平成21年8月21日（金）まで。ただし，京都市の休日を含め定める条例に規定する本市の休日（以下「休日」という。）を除く。

なお，申請書等の交付を行う時間は，午前9時から午後5時まで（ただし，正午から午後1時までを除く。）とする。

イ インターネットからのダウンロード

京都市行財政局財政部契約課のホームページに，5(2)ア(イ)の交付期間終了まで，入札公告及び申請書等を掲示するので，インターネットからダウンロードする者は，A4判の帳票として印刷し使用すること。

ホームページのアドレス

<http://www.city.kyoto.jp/rizai/chodo/>

(3) 入札参加資格確認申請書等の提出方法

ア 受付場所

5(2)ア(ア)に同じ。

イ 受付期間及び受付時間

5(2)ア(イ)に同じ。

ウ 提出方法

持参又は郵送による。

なお、電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカードを使用し、インターネットを利用して京都市電子入札システムに入札データを送信しようとする者は、京都市電子入札システムの本件に係る一般競争入札参加資格確認申請書（以下「電子入札システムの申請書」という。）を提出する日の前日（休日を除く。）までに提出すること。

(4) 入札参加資格の確認結果通知等

ア 本件入札参加資格の確認結果は、平成21年8月27日（木）までに、一般競争入札参加資格確認通知書により通知する。

イ 一般競争入札参加資格確認申請書の提出の日において、特定競争入札参加資格を有していたと認められる登録事業者以外の者が、アに定める日の前日までに告示に定める資格の審査の申請を行っていた場合において、アに定める日現在において告示に定める資格の審査が継続しているときは、その者が開札の時にまでに告示に定める資格を有していると認められることを条件として、入札することができる。

(5) 入札参加資格を有しないと認められた者に対する理由の説明

ア 本件入札参加資格確認において入札参加資格を有しないと認めた旨の通知を受けた者は、その理由について書面による説明を求める場合は、平成21年9月3日（木）午後5時までに、その旨を記載した書面を5(2)ア(ア)の場所まで

提出すること。

イ 市長は、アによる説明を求められたときは、平成21年9月10日（木）までに、説明を求めた者に対し、書面により回答する。

6 総合評価の手続

総合評価は次の手続により行う。

(1) 技術資料等の提出

必要事項等について記載漏れのない技術資料を提出すること。

なお、提出期日及び提出場所は次のとおりとする。

ア 提出期日 平成21年9月17日（木）午後5時まで

イ 提出場所 5(2)ア(ア)に同じ。

(2) ヒアリングの実施

配置する予定の監理技術者に対して、提出された技術資料の内容に関するヒアリング（以下「ヒアリング」という。）を実施することがある。ヒアリングを実施する場合は、別途通知する。

なお、ヒアリングに特別な理由なく応じなかった場合は、入札参加資格を取り消すものとする。

(3) 技術資料の評価

代表者となる構成員が配置予定の監理技術者のうち1名についての資格や施工実績等、落札者決定基準に定めるところにより総合的に評価する。

7 入札参加資格確認の取消し

本件入札参加資格があると認められた者が、次の各号のいずれかに該当することとなったときは、市長は5(4)の通知を取り消し、改めてその旨を通知するものとする。

(1) 落札決定の日時までの間に、規則第2条第1項の規定により定めた一般競争入

札参加者の資格を喪失したとき。

(2) 落札決定の日時までの間に、3に規定する本件入札に参加する者に必要な資格を喪失したとき。

(3) 本件競争入札参加資格の確認後、落札決定までの期間に、要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止措置を受けたとき。

(4) 6(1)に示す技術資料について、落札者決定基準に示す欠格事項に該当するときのほか、提出期限までに必要事項等について記載漏れのない技術資料を提出しなかったとき。

なお、技術資料を提出しない場合は、参加資格の取消しと併せて無断欠席扱いとし、競争入札参加停止措置を行う。

(5) その他市長が特に入札に参加させることが不相当であると認めたとき。

8 入札説明書、落札者決定基準及び設計図書等

(1) 入札説明書及び落札者決定基準

ア 提示期間

平成21年8月10日（月）から平成21年10月1日（木）まで

（ただし、落札者決定基準は平成21年9月17日（木）まで）

イ 提示場所

京都市建設局建設企画部建設企画課ホームページ

ホームページのアドレス

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/soshiki/10-1-2-0-9.html>

(2) 設計図書等

ア 販売期間

平成21年8月10日（月）から平成21年10月1日（木）まで

（ただし、土曜・日曜・祝日及び平成21年8月14日（金）を除く。）

イ 販売場所

株式会社平安光業

京都市中京区丸太町通烏丸西入常真横町187（電話075-231-1177）

設計図書等の想定販売金額 7,370円

（A0+A1青写真 1枚，A1青写真 107枚，A4コピー 85枚）

- (3) 落札者決定基準，設計図書等に対する質問及び回答期限等については，入札説明書による。

9 入札方法等

- (1) 技術資料による提案の取扱い

技術資料による技術提案については，設計変更の対象としない。

- (2) 本件入札は，郵送によるものを除き，京都市電子入札システムにより行う。

京都市電子入札システムによる入札は，次のア又はイのいずれかの方法による。

ア 共同企業体の代表者が，電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカード（本市に提出済みの「使用印鑑届」と同一人のもの又は受任者がいる場合には受任者のもので，かつ，落札決定までの期間において有効であるものに限る。）を取得したうえで，京都市電子入札システムへの利用者登録を行い，インターネットを利用して入札データを送信する。

イ 共同企業体の代表者が，入札端末機利用者カード（規則第6条第4項に規定する入札端末機利用者カードをいう。以下同じ。）の交付を受け，5(2)ア(ア)の場所に設置する入札端末機（規則第6条第2項に規定する入札端末機をいう。）を使用して入札データを送信する。

- (3) 入札端末機利用者カードの交付

共同企業体の代表者が入札端末機利用者カードの交付を受けていないときは，

入札期間の終了の1時間前までに入札端末機利用者カードの発行の申請を行うこと（申請書交付は、実印の押印を必要とするので、注意すること。）

- (4) 落札価格は、入札金額に当該金額の100分の5に相当する額を加算した額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、消費税及び地方消費税を含まない金額を入力すること。
- (5) 入札者は、送信した入札金額の訂正又は撤回をすることはできない。
- (6) 落札決定に当たっては、落札者決定基準で示す技術資料等の評価による得点を入札価格で除すことによって得た数値（以下「総合評価点」という。）の最も高い者を、必要に応じて学識経験者への意見聴取を行ったうえで落札者とする。ただし、その者が低入札価格調査制度にかかる調査基準価格を下回る価格で入札を行ったときは、同制度に基づく調査を実施し、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認めるときは、その者との契約を行わないことがある。

また、落札者となるべき者の評価内容によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認めるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すことになるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、その者の次に総合評価点が高い者を落札者とすることがある。

なお、最も高い総合評価点を得た者が二者以上あるときは、くじにより落札者を決定する。

- (7) 本件入札において、低入札調査基準価格を下回る価格で応札した場合には、価格及び総合評価点の順位に関わらず、低入札価格調査制度における必要書類（京都市行財政局財政部契約課のホームページ参照）を、平成21年10月9日（金）午後5時までに、5(2)ア(ア)の場所に提出しなければならない。

なお、当該期限までに提出されないときは、要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止措置を行う。

- (8) 本件入札において、予定価格及び低入札価格調査制度に係る調査基準価格を入札の前に公表するが、3の参加資格があると認められた者の商号（法人にあっては名称）は公表しない。

10 入札期間及び開札日時等

(1) 入札期間

平成21年10月2日（金）、5日（月）及び6日（火）の午前9時から午後5時まで。ただし、端末機利用者は正午から午後1時までを除く。

なお、入札書を郵送する場合には、書留郵便とし、平成21年10月6日（火）の午後5時までに5(2)ア(ア)の場所に必着させること。

- (2) 入札を行う者は、次のア及びイの方法により、入札金額に対応する積算内訳書を提出しなければならない。ただし、入札書を郵送する場合は、入札書と同様に提出すること。

ア インターネット利用者の場合

入札データを送信する際、積算内訳書に工事名及び工事場所、開札日、共同企業体名、代表者の商号又は名称、代表者役職及び氏名を記載したうえ、ワード、エクセル（Office2003で扱えること）又はPDFファイル（Adobe Reader 7.0で扱えること。）にして添付すること。

イ 端末機利用者の場合

積算内訳書に工事名及び工事場所、開札日、共同企業体名、代表者の商号又は名称、代表者役職及び氏名を記載し、登録印を押印するとともに、封入、封かんのうえ、入札期間の終了までに5(2)ア(ア)の場所に持参し、提出すること。

- (3) 上記(2)の積算内訳書は、参考図書として提示を求めるものであり、入札及び契

約上の権利義務を生じるものではない。

(4) 開札日時

平成21年10月7日（水）午前10時から開札し，落札者を決定する。

なお，落札者に対しては，落札を決定した日に，以下のとおり通知する。

ア 落札者がインターネット利用者である場合

落札結果を電子入札システムにより確認するよう，電子メールを送信する。

イ 落札者が端末機利用者である場合

電話により通知する。

(5) 落札者以外の入札参加者に対する通知

ア インターネット利用者である場合

落札結果を電子入札システムにより確認するよう，電子メールを送信する。

イ 端末機利用者及び郵送者である場合

落札者を決定した日の翌日から3開庁日の午前9時から午後5時まで（ただし，正午から午後1時までを除く。）の期間に，来庁時の口頭又は電話による問い合わせがあった場合に限り，口頭により通知する。ただし，上記期間内に，書面による通知を請求する旨の書面による請求があった場合には，書面による通知を行う。

(6) 落札者以外の入札参加者に対する書面による理由説明

落札者以外の入札参加者は，落札者とならなかった理由について書面による説明を求める場合は，落札者を決定した日の翌日から3開庁日の期間に，その旨記載した書面を5(2)ア(ア)の場所まで持参し，提出すること。

(7) 入札の執行結果の公表

入札の執行結果は，落札者を決定した日の翌開庁日午後1時から5(2)ア(ア)の場所で閲覧に供し，併せて京都市行財政局財政部契約課のホームページにおいて

公表する。

11 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

納付。ただし、規則第7条の2第1項第1号から第6号に掲げる国債その他有価証券の提供又は金融機関の保証をもって入札保証金の納付に代えることができる。また、入札保証保険契約の締結を行った場合又は金融機関若しくは保証事業会社と契約保証契約の予約を締結した場合は、入札保証金の納付を免除する。

(2) 契約保証金

納付。保証金額は請負代金額の3割とする。ただし、有価証券等の提供又は銀行等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

12 入札の無効

規則第6条の2各号に定めるもののほか、虚偽の申請により競争入札参加資格があると認められた者が行った入札は無効とする。

13 議会の議決に付すべき契約

本件工事の請負契約は、議会の議決に付すべき契約に該当するため、契約の相手方となる者は、まず本市と仮契約を締結し議会の議決を経た後、本契約を締結する。仮契約を締結してから議会の議決があるまでに、仮契約の相手方に別に定める基準に該当する反社会的行為等があったときは、当該仮契約は解除する。この場合において、仮契約の相手方は、本市に対し、仮契約代金額の100分の5に相当する額の違約金を支払わなければならない。

14 その他

(1) 本件入札は、政府調達に関する協定の適用を受けるものである。

- (2) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (3) 契約書作成の要否 要
- (4) 本件入札に直接関連する他の工事の請負契約を本件工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無
- (5) 本公告に関する問い合わせ先 5(2)ア(7)に同じ。
- (6) 登録事業者以外の者が、入札端末機利用者カードの発行の申請を行おうとするときは、発行の申請を行おうとする日の前日までに公告に定める資格を有すると認められていなければならない。
- (7) 一般競争入札参加資格の確認の結果通知の日の前日までに、告示に定める資格の審査の申請を行っていた登録事業者以外の者が、入札書を郵送しようとする場合において、入札書の到着の日においてその者の告示に定める資格の審査が継続しているときは、本市は、その者が開札の時までに告示に定める資格を有していると認められることを条件として、入札書を受領するものとする。
- (8) 公正な競争を確保するため、本件入札において互いに競争相手であった落札者（以下「契約者」という。）と落札者以外のもの（以下「非落札者」という。）が、次に掲げる事項を行うことを禁止する。
 - ア 契約者が、非落札者に本件工事の施工に関して建設業法第2条第1項に規定する建設工事を請け負わせること。
 - イ 非落札者が、契約者から本件工事を請け負うこと（2次下請、3次下請その他契約者と直接契約を締結しない場合を含む。）。

15 Summary

- (1) Subject matter of the contract :
Construction work of Kurio bypass tunnel (NATM).
- (2) Time-limit for the submission of application forms and relevant

documents for the qualification :

5:00 p.m. 21 August, 2009

(3) Time-limit for the submission of tenders :

5:00 p.m. 6 October, 2009

(4) Contact point for the notice: Supplies Section, Finance Division,
Finance Bureau, City of Kyoto

Teramachi-Oike Nakagyo-ku, Kyoto 604-8571, Japan

Phone 075-222-3313

(行財政局財政部契約課)